

陳 情

陳情第1号 商工業地域への用途変更、工場建設反対の要望について

(陳情趣旨)

- 1 用途地の見直しに対する明確な開発計画の内容説明会を迅速に実施すること。
- 2 住民理解と了承のもとでの計画を進めること。
- 3 上記1、2の結果、開発に至る場合としても、住民として領ける環境を考えた商工業地としての開発とすること。
- 4 上記が網羅されない場合は、商工業地域への変更に反対とする。

委員会審議

建設経済厚生

問 なぜ市長に提出した要望書と同じ文章で議会に提出したのか。また市長からの回答文書に対してどのような意見を持っているか。

答 (陳情者) 地域住民が困っているという意見を、住民の代表である議員に聞いていただきたいという思いで議会に提出した。市の回答は、具体的な開発内容は決まっておらず、地域の方の意見を聞きながら進めると捉えたが、現実として具体的な開発計画の話をしており、開発計画ありきの見直しではないかと感じている。

問 地域づくりという観点から、商工業地域にすることによって、地域を活性化しようという考え方についてどう思うか。

答 (陳情者) 加西市が発展していくためには開発は必要だと考えるが、用途変更の結果、住居近くに工場が建設されると、音、臭い、振動、交通量などで地域環境が現在よりも悪化することを懸念している。そうい

う部分も勘案した上で工場建設の場所や内容を検討していただきたい。

問 地元の理解が進んでいないという陳情者の意見があったが、どのような地元説明会を行ったのか。

答 (都市計画課) 一定規模以上の店舗や工場が建設できる用途変更を説明する中で出された意見により、工場については準工業地域並みから、より規制のかかる商業地域並みに変更するとともに、他市の事例を写真で見せていただくなどしながら、理解を得るように努めてきました。中野町については4回の地元説明会を行い、下宮木町については平成29年11月から3回の地元説明会を行いました。今年4月の説明会では34名の参加があり、見直し計画に賛成の方から多数決を取ればどうかとの意見があり、反対の方の挙手を求めたところ6名で反対意見は少数という状況でした。



討 論

本会議

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。(発言順に掲載)

現段階は用途地域変更の計画であり具体的な開発がどうなるかは、この用途変更の見直しの後でしか説明のしようがない。また、住宅系から工業地域への変更の必要性については、平成29年11月、平成30年2月と4月に住民の方へ説明がされている。大きな反対もなく、理解を得ながら進めてきたと説明を受けている。今回陳情が提出されたことに対し、市として引き続き説明を続けると表明されている。まずは用途変更を決定し、その後、地区計画で地元の意見を反映していただきたい。

反対



森元清蔵 議員



井上芳弘 議員

賛成

件名は「商工業地域への用途変更、工場建設反対の要望について」となっているが、趣旨は地域への丁寧な説明と理解の上で進めてほしいというものだ。とりわけ、今回の陳情者は社会福祉法人であって、市街化決定され、第一種住宅区域とされて以降、事業を展開されている。管理者としての責任の上からも周囲の環境について十分関心を持って行動されるのは当然である。地域住民が一体となって活性化が図られることが第一であり、そのためには十分な説明と知識の共有が必要と思う。その立場から採択に賛成する。

議決結果 不採択 (賛成4 反対10)